

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和1年9月18日

計画の名称		栃木群馬長野広域的観光活性化計画（第2回変更）								
計画の期間		平成25年度～平成29年度（5年間）			交付対象		栃木県（群馬県、長野県と連携）			
計画の目標		<p>巨大な観光需要を抱える首都圏の周縁部に位置する特性を最大限に活かし、関越道、上信越道、北関東道から観光地へのアクセスを強化するとともに、民間と連携した観光PRや自然環境保護活動に広域で取り組むことにより、世界遺産等の歴史的文化遺産や豊かな自然環境が有機的に連携した広域的な観光活性化を図る。</p>								
計画の成果目標（定量的指標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>計画地区内の観光客数を4,481万人（H25）から4,730万人（H29）に増加させる。</li> <li>栃木県内の拠点施設の観光客数を346万人（H25）から368万人（H29）に増加させる。</li> </ul>								
定量的指標の定義及び考え方		定量的指標の現況値及び目標値						備考		
		当初現況値 (H25)		中間目標値 (H27末)		最終目標値 (H29末)				
計画地区内の観光客総数 群馬県全域・栃木県計画地区内（渡良瀬・日光地域）・長野県計画地区内（北信濃・東信州地域）の拠点施設の観光客総計		4,481万人		4,606万人 (2.8%増)		4,730万人 (5.6%増)				
・栃木交流圏内の拠点施設の観光客総計		346万人		357万人 (3.1%増)		368万人 (6.4%増)				
拠点施設・重点地区		<p>【拠点施設】 赤城エリア観光拠点群、西毛エリア観光拠点群、吾妻エリア観光拠点群、尾瀬エリア観光拠点群、水上エリア観光拠点群 上小佐久エリア観光拠点群、北信エリア観光拠点群 日光エリア観光拠点群、渡良瀬エリア観光拠点群</p> <p>【重点地区】 前橋公園周辺地区、川場村田園観光地区、利根川周辺スポーツ観光地区、高崎市街地周辺地区</p>								
関係県との連携の内容、進め方		<p>(連携内容) 周遊観光ルート形成調査を関係部局と連携を図りながら群馬県、長野県と共同で実施 (進め方) 関係各県の担当者が集まる会議を設置(H22年度より毎年開催)し、栃木県、群馬県、長野県を横断するロマンチック街道や日本風景街道などを活用した、新たな広域的観光ルートの策定を検討する。</p>								
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,150百万円	A	3,150百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%
<b>事後評価</b>										
○中間評価の実施体制、実施時期										
中間評価の実施体制						事後評価の実施時期				
						H29繰越工事完了後のH31年度に実施				
事業策定主体（道路整備課）にて評価を実施						公表の方法				
						栃木県HPにおいて公表				
1. 交付対象事業の進捗状況										
事業概要										
整備方針										
① 拠点施設へのアクセス時間を短縮させ、周遊効率性を高める				(基) B P整備2箇所、現道拡幅8箇所、橋梁整備1箇所						
(参考) 交付対象事業に関連して実施される主な事業										
<p>栃木群馬長野広域的観光活性化計画の交付対象事業（事業主体：群馬県 事業期間：平成25年度～平成29年度）          栃木群馬長野広域的観光活性化計画の交付対象事業（事業主体：長野県 事業期間：平成25年度～平成29年度）          北陸新幹線（長野駅～金沢駅間）平成27年3月開通（事業主体：鉄道建設・運輸施設整備支援機構）【北陸地方からの観光客の増加】</p>										

A1 広域連携事業																	
番号 200	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
1-A1-201	道路	一般	栃木県	直接		国道	改築	(国)121号 高德工区	現道拡幅 0.7km	日光市						410	
1-A1-202	道路	一般	栃木県	直接		国道	改築	(主)川俣温泉川治線 愛宕山工区	現道拡幅 0.3km	日光市						470	
1-A1-203	道路	一般	栃木県	直接		国道	改築	(一)黒部西川線 湯西川工区	現道拡幅 0.6km	日光市						280	
1-A1-204	道路	一般	栃木県	直接		国道	改築	(一)山形寺岡線 赤見南工区	バイパス 1.1km	佐野市						672	
1-A1-206	道路	一般	栃木県	直接		国道	改築	(一)作原田沼線 作原工区	現道拡幅 0.5km	佐野市						225	
1-A1-207	道路	一般	栃木県	直接		国道	改築	(一)飛駒足利線 菅田町工区	バイパス 1.0km	足利市						595	
1-A1-208	道路	一般	栃木県	直接		国道	改築	(国)119号 住吉町工区	現道拡幅 0.5km	日光市						41	
1-A1-209	道路	一般	栃木県	直接		国道	改築	(国)121号 大桑橋工区	橋梁整備 0.3km	日光市						90	
1-A1-210	道路	一般	栃木県	直接		国道	改築	(主)桐生岩舟線 大久保工区	現道拡幅 0.5km	足利市						132	
1-A1-211	道路	一般	栃木県	直接		国道	改築	(主)藤岡乙女線 藤岡工区	現道拡幅 0.4km	栃木市						150	
1-A1-212	道路	一般	栃木県	直接		国道	改築	(主)藤岡乙女線 中根西工区	現道拡幅 0.3km	栃木市						85	
合計																3,150	

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		(国)121号や(一)黒部西川線の現道拡幅整備を行ったことにより、拠点施設へのアクセス性が向上し、観光入込客数が増加したと考えられる。										
II 定量的指標の達成状況	指標①群馬県全域・栃木 県計画地区内(足利市・ 佐野市・日光市)・長野 県計画地区内(北信濃・ 東信州地域)の拠点施設 の観光客総計	最終目標値	4,730万人	目標値と実績値 に差が出た要因	・道路の整備に伴い拠点施設へのアクセス性が向上したため、目標値に対して実績値が上回る結果となった。							
		最終実績値	4,913万人									
	指標②栃木交流 圏内の観光客総 計	最終目標値	368万人	目標値と実績値 に差が出た要因	・道路の整備に伴い拠点施設へのアクセス性が向上したため、目標値に対して実績値が上回る結果となった。							
		最終実績値	535万人									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		道路事業の完成により観光道路としてだけでなく、地元の生活道路として住民の安全な通行の確保に寄与できたと考える。										

3. 特記事項(今後の方針等)  
 目標を達成することができたが、未完了事業もあることから、これらの整備を引き続き進めることで更なる活性化も期待できる。



